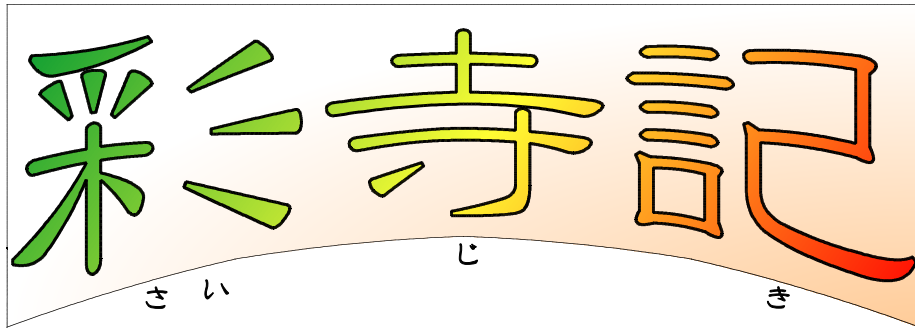


真言宗豊山派

蓮光院 季刊寺報

柏崎市米山町2260 (0257-26-2109)

編集・文責 中村 浄光



令和元年9月 再刊10号 (通刊19)

2019 初秋

彩寺記は ホームページにも 掲載されています renkouin.com/

みなさま 無事に夏を乗り切ったでしょうか 季節の変わり目 健康で過ごしましょう



特集

秋を告げる花 - ヒガンバナ

お盆の イベント

～ 梵字 (ぼんじ) のお話 と 聯 (れん) の披露 ～

令和元年8月4日

● 過去最多 = 約120名のお客さま! 新盆精霊ご供養のお客様が大量にご参加なされたこともあり、座り切れなほどの盛況でした。7名の新盆精霊を弔うとともに檀信徒のご先祖様を供養する大法要となりました。

● 『梵字』・『梵字お守り』のお話 真言宗は梵字を極めて大事にしている宗派です。今回は聯に関連して、経本の原典で使われている梵字について、田邊裔武氏から強力なエネルギーを持つ梵字の意味や働き、お守りとしての効力などをお話していただきました。



熱心に聴き入る参加者



梵字お守りの例

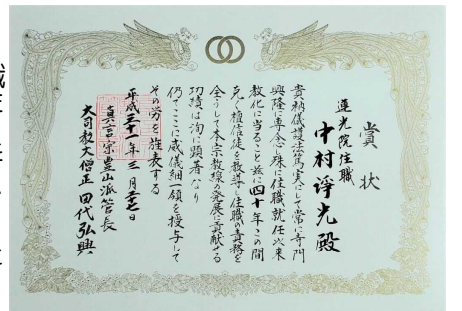


梵字についてお話をされる田邊裔武氏



お守りは、田邊裔武氏から蓮光院におられるご本尊大日如來の梵字、お地蔵さまの梵字、お不動さまの梵字、弘法大師の梵字を書いていただき、さらに、希望者のお名前を梵字で書き込んで、最強のお守りに仕上げさせていただきました。大変反響が大きく、檀家の皆さんを中心に約85枚のお守りが作られ、世界でたった1枚しか存在しない自分だけのお守りがお手元に配られました。関東、関西などご遠方の方々にはご案内を差し上げませんでしたが、ご希望の方がおられれば田邊氏にお取り次ぎいたします。

● 『聯 (れん)』の披露 住職が29歳で蓮光院住職を継いでから、昨年で40年を迎えました。今年3月には東京・真言宗豊山派宗務所において田代弘興管長猊下から表彰して頂きました。自分は苦難の40年だったと振り返りますが、この間、仏さまと檀信徒の皆さまの温かい支えのおかげで、どうにか今日まで勤めることができたと思ひ感謝の気持ちでいっぱいです。これを記念して、そのご恩に報いんがために聯 (れん) を製作して本堂に奉納いたしました。聯とは内陣の柱にかける経文を彫った板のことです。蓮光院檀信徒の皆さまの息災安穩、蓮光院の末永い発展を念願して奉納させていただきました。



聯の製作は平成30年1月から取りかかりました。材料の桐材の切り出し、製材、乾燥の一切を吉原一夫氏に依頼しました。



↑ 原木の切り出し



↑ 乾燥



↑ 製材

丸柱に合わせてえぐる作業が大変でした。

← ご本尊のご真言は梵字書家・田邊齋武氏の揮毫

← 光明真言は住職・中村浄光の執筆

← 彫刻は住職・中村浄光



彩色は仏師・山本桃楓氏と悠雲氏、金箔は京屋仏壇店・小山氏のご協力を戴きました。



↑ 仏師・山本桃楓氏と悠雲氏（見附市・仏工房安寿）

彫りの荒いところなどは上質の胡粉で綺麗に修正していただきました。



↑ 工房にて彩色・乾燥

イメージした色彩に仕上げていただきました。

以降、蓮光院の什物の一つとして保存していただければ嬉しいです。



7月10日 完成・奉納 記念撮影

左・中村浄光（住職） 中央・田邊齋武氏（十日町市） 右・吉原一夫氏（米山町）

↓ 光明真言

↓ 大日如来ご真言



総丈 2m 30cm 幅 30cm



